

バンダイこどもアンケートレポート Vol.212

「2020年東京オリンピックに関する小中学生の意識調査」結果 ～「好きなスポーツ選手」アンケート調査も～

- TOPIC①:** 東京オリンピックで見たい競技の3強は「水泳」、「サッカー」、「陸上競技」
男子は「サッカー」、女子は「水泳」が圧倒的人気！
- TOPIC②:** やってみたいオリンピック競技には、「サッカー」、「水泳」など身近なスポーツがランクイン。
一方で、「やってみたい競技がない」という消極的な意見も。
- TOPIC③:** 小中学生が一番好きなスポーツ選手は、「イチロー」
実績に加え、信念を持って努力し続ける生き方が人気の要因。
- 総括** : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、2020年東京オリンピックの開催決定を受け、小中学生(6～15歳)のお子さまの保護者の方800人を対象に、「2020年東京オリンピックに関する小中学生の意識調査」を実施いたしました。また、スポーツの秋にちなみ、「好きなスポーツ選手」のアンケート調査も合わせて実施いたしました。調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間:2013年9月13日～16日)

TOPIC①: 東京オリンピックで見たい競技の3強は「水泳」、「サッカー」、「陸上競技」 男子は「サッカー」、女子は「水泳」が圧倒的人気！

【小中学生が2020年東京オリンピックで見たいと思う競技】

男女総合TOP5		
1位	水泳 *1	43.3%
2位	サッカー	39.9%
3位	陸上競技 *2	34.8%
4位	体操 *3	23.3%
5位	バレーボール	20.4%

男子総合TOP5		
1位	サッカー	57.5%
2位	水泳 *1	各38.8%
	陸上競技 *2	
3位	体操 *3	18.8%
4位	柔道	16.0%
5位	テニス	15.5%

女子総合TOP5		
1位	水泳 *1	47.8%
2位	陸上競技 *2	30.8%
3位	体操 *3	27.8%
4位	バレーボール	27.0%
5位	サッカー	22.3%

- *1 水泳: 競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング、水球
 *2 陸上競技: 競走、競歩、マラソン、跳躍競技、投てき競技、混成競技
 *3 体操: 体操競技、新体操、トランポリン

小中学生が2020年の東京オリンピックで見たいと思う競技の1位は「水泳」(43.3%)。2位は「サッカー」(39.9%)、3位は「陸上競技」(34.8%)となりました。オリンピックや各競技の世界大会で日本人選手のメダル獲得実績があり、東京オリンピックでも活躍が期待される競技に注目が集まっていることがうかがえます。男女別で見ると、男子では「サッカー」、女子では「水泳」が圧倒的人気で1位に。男女ともに注目度が高かったのは「水泳」(男子2位、女子1位)、「陸上競技」(男子2位、女子2位)、「体操」(男子3位、女子3位)でした。

**TOPIC②: やってみたいオリンピック競技には、「サッカー」、「水泳」など身近なスポーツがランクイン。
一方で、「やってみたい競技がない」という消極的な意見も。**

【やってみたいと思うオリンピック競技】

男女総合TOP5		
1位	サッカー	18.1%
2位	水泳 *1	15.6%
3位	特になし	14.3%
4位	テニス	8.4%
5位	陸上競技 *2	7.1%

男子総合TOP5		
1位	サッカー	31.0%
2位	特になし	12.8%
3位	水泳 *1	12.3%
4位	テニス	8.8%
5位	陸上競技 *2	6.0%

女子総合TOP5		
1位	水泳 *1	19.0%
2位	特になし	15.8%
3位	バドミントン	9.3%
4位	陸上競技 *2	各8.3%
	バレーボール	
5位	テニス	8.0%

- *1 水泳: 競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング、水球
- *2 陸上競技: 競走、競歩、マラソン、跳躍競技、投てき競技、混成競技
- *3 体操: 体操競技、新体操、トランポリン

実際に自分でやってみたいと思うオリンピック競技について質問したところ、総合 1 位が「サッカー」(18.1%)、総合 2 位が「水泳」(15.6%)という結果になりました。男女別で見ると、見たいと思う競技と同様、男子では「サッカー」、女子では「水泳」が 1 位となりました。

やってみたいと思う理由について聞いたところ、上位にあがった競技については、「部活などでやっている、やったことがある」といった回答が多く、子どもたちにとって身近なスポーツほど、やってみたいと感じている傾向が見られました。

一方で、やってみたい競技が「特になし」という回答が総合 3 位となり、スポーツに取り組むことについて消極的な意見も目立ちました。その理由としては、「スポーツに興味がない」、「運動が好きではない」、「疲れるからやりたくない」といった回答が見受けられ、子どもたちのスポーツ離れを示す結果となりました。

「平成 24 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(文部科学省)では、運動する生徒としない生徒の二極化が指摘されており、1 週間の総運動時間が 60 分未満と答えた生徒は、女子の割合が高く、小学生女子で 23.9%、中学生女子で 30.9%となっています。今回の「やってみたいオリンピック競技」に関する調査は、スポーツに関して消極的な子どもの意見を反映する結果であるといえます。

TOPIC③: 小中学生が一番好きなスポーツ選手は、「イチロー」

実績に加え、信念を持って努力し続ける生き方が、人気の要因。

【好きなスポーツ選手】

男女総合TOP10			
1位	イチロー	(野球)	5.3%
2位	本田圭佑	(サッカー)	5.1%
3位	北島康介	(水泳)	4.3%
4位	香川真司	(サッカー)	4.1%
5位	浅田真央	(フィギュアスケート)	3.1%
6位	ウサイン・ボルト	(陸上)	2.5%
7位	木村沙織	(バレーボール)	2.4%
8位	澤穂希	(サッカー)	2.3%
9位	錦織圭	(テニス)	2.1%
10位	リオネル・メッシ	(サッカー)	1.9%

好きなスポーツ選手では、今年日米通算 4,000 本安打を達成した「イチロー」選手が総合 1 位となりました。好きな理由としては、「世界で活躍していて有名だから」、「信念のある人だから」、「有名になっても努力を忘れないから」などのコメントが寄せられました。実績に加え、信念を持って常に努力し続ける生き方が、子どもたちから尊敬される要因となっていることが読み取れました。

総合 2 位の「本田圭佑」選手には、「カッコいいから」というコメントが多く、加えて「有言実行の凄さ」、「サッカーに対する考えが好き」という意見も寄せられました。

総合 3 位の「北島康介」選手を好きな理由として、オリンピックで 2 大会連続金メダルを獲得したことを挙げる人が多く、金メダルを獲得した時の「名言がかっこいい」というコメントもありました。

また、総合 6 位には、海外より陸上の「ウサイン・ボルト」選手がランクインしました。「人類史上最速」という圧倒的な強さに、海を越えて憧れを持っているようです。

今回ランクインした選手を見ると、世界を舞台に活躍していて、実績のある選手が、子どもたちから人気を集めていることがうかがえる結果となりました。

【バンダイからのコメント】

子どもたちがやってみたいと思う競技では、子どもたちにとって身近なスポーツが上位にランクインした一方で、「特にやってみたい競技がない」、「スポーツに興味がない」というコメントも目立ちました。

文部科学省の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、子どもの体力・運動能力は昭和 60 年頃から低下傾向にあり、運動する子どもと運動しない子どもの二極化も進んでいるそうです。

2020 年の東京オリンピックの開催が、子どもたちがスポーツへの興味を持つきっかけとなり、スポーツに取り組む機会が今後増えれば、と感じます。そして、今の小中学生の中から、東京オリンピックで活躍する選手が出ることを期待しています。

参考資料 <男女別ランキング>

● 好きなスポーツ選手

男子総合TOP5		
1位	イチロー (野球)	6.4%
2位	本田圭佑 (サッカー)	4.8%
3位	北島康介 (水泳)	4.1%
4位	香川真司 (サッカー)	3.8%
5位	浅田真央 (フィギュアスケート)	各2.4%
	ウサイン・ボルト (陸上)	
	木村沙織 (バレーボール)	
	澤穂希 (サッカー)	

女子総合TOP5		
1位	本田圭佑 (サッカー)	5.5%
2位	北島康介 (水泳)	各4.5%
	香川真司 (サッカー)	
3位	イチロー (野球)	各3.9%
	浅田真央 (フィギュアスケート)	
4位	錦織圭 (テニス)	3.1%
5位	ウサイン・ボルト (陸上)	2.6%

■ 調査概要

【 調査目的 】 スポーツに関する意識を探る

【 調査地域 】 全国

【 対象者条件 】 6～15歳の子どもの両親(小学生～中学生の子どもがいる親)

【 調査手法 】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【 実査期間 】 2013年9月13日(金)～9月16日(月)

【 サンプル数 】 800人

【 構成 】

(全体)	小学校 低学年 1～2年生	小学校 中学年 3～4年生	小学校 高学年 5～6年生	中学校 1～3年生
男子	100人	100人	100人	100人
女子	100人	100人	100人	100人

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>